

|             |                 |       |             |                  |
|-------------|-----------------|-------|-------------|------------------|
| <b>重点施策</b> | 文化・芸術活動の創造・育成支援 | 評価実施者 | 所 属<br>職・氏名 | 社会教育課<br>課長 竹谷和徳 |
|-------------|-----------------|-------|-------------|------------------|

|                |                 |  |
|----------------|-----------------|--|
| <b>重点施策の概要</b> | <b>目的</b>       | 市民による優れた芸術鑑賞事業や個性的な文化創造事業のほか、これらをけん引する人材育成事業を支援し、地域の文化力を原動力としたまちづくりを目指します。 |
|                | <b>今年度の主要事業</b> | ①地域文化活動を支える市民との協働による鑑賞事業などの実施<br>②学校を舞台とした芸術鑑賞や体験などのアウトリーチ事業の拡充            |

| 事業の目標と実績 | 区分                            | 単位 | H22  | H23                | H24  | 特記事項  |
|----------|-------------------------------|----|------|--------------------|------|---|
|          |                               |    | 1    | たきかわ音楽祭・市民文化祭の来場者数 | 人    |   |
| 2        | 文化センターを会場とした座席数に対する鑑賞事業観客数の割合 | %  | 75.0 | 75.0               | 75.0 | H22 華々しき一族 760人、松竹大歌舞伎 800人 BBBB 450人<br>H23 炎の人 634人、札幌公演 750人<br>H24 ヘルパーズ530人、熱帯JAZZ楽団750人、海流座405人 |
|          |                               |    | 実績   | 78.0               | 70.0 |   |
| 3        | 芸術家が訪問した延学校数                  | 校  | 11   | 11                 | 11   | H24 NHK子ども音楽クラブ(関西中)、東京プラススタイル(関西中、江部乙中)、大阪交響楽団(江陵中)<br>大嶋康司ワークショップ(西高)                               |
|          |                               |    | 実績   | 2                  | 9    |   |
| 4        |                               | 目標 |      |                    |      |   |
|          |                               | 実績 |      |                    |      |   |

|                   |   |
|-------------------|---|
| <b>事業の分析効果の検証</b> | <p>①音楽祭は、中・高校生の参加によるジュニアプラスオーケストラの活躍が光った。特に大序曲「1812」では、舞台と客席からの演奏があり、演出的にも見ごたえのあるものだった。市民文化祭は、展示部門では絵手紙やフラワーアレンジが体験できたり、喫茶コーナーを新たに設置したり、来場者が楽しむことができる工夫をした。</p> <p>②文化センターにおいて、市民との協働によりさまざまな補助金を活用し3本の舞台を行った。ヘルパーズでは、出演者が事前に高齢者施設の訪問やラジオでのPRをしたり、海流座では、演劇ワークショップに参加した市民が同じ舞台に出演するなど、役者と市民とが触れ合う機会を多くもてた。</p> <p>③「平成24年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業」補助を活用し、たきかわホールや公共施設ロビー、太郎吉蔵などで演劇・コンサート・落語など10の事業を展開した。市民の落語愛好家たちの発表の場となった「市民寄席」や、美術自然史館で開催した墨絵師・杉吉貢制作による「白い森・黒い森」を舞台に行われたさまざまなアートパフォーマンスなど、滝川市の新たな文化芸術活動を展開するきっかけとなった。</p> <p>④芸術家の訪問やワークショップを実施した学校は、中学校3校と高校1校の4校であった。NHK子ども音楽クラブは、北海道で唯一実施された学校であったり、東京プラススタイル・大嶋康司(ヤッシーノブラック・ボトム・ブラス・バンド)のワークショップを受けた生徒は、本番の舞台でも一緒に演奏するなど、生徒にとって貴重な体験となった。</p> |
|-------------------|---|

|           |   |
|-----------|---|
| <b>課題</b> | <p>①文化祭においては、展示と芸能の開催日を分けて実施しており、何度も足を運ばなくてはならないことが、全体の盛り上がりを欠けさせている一因でもあり、同日ですべてを見ることのできる同日開催へ変更する。</p> <p>②主催者や行政からのPRだけでは、すみずみまで情報が行き届かないことから、SNSのソーシャルボタン(フェイスブックの「いいね！」やツイッターの「リツイートする」など)を押し、情報を拡散してくれる支援者を募集し、ネット上の情報提供を充実させる。</p> |
|-----------|---|

|           |          |   |
|-----------|----------|---|
| <b>評価</b> | <b>B</b> | <p><b>評価の視点1 期待どおりの効果があったか</b><br/>特徴のある文化芸術活動や、次の活動につながる新たな取り組みができたことは期待どおりであったが、入場者が伸び悩んだことは反省。<br/>芸術家の学校訪問は、生徒の反応が極めてよく、効果があった。</p> <p><b>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか</b><br/>優れた鑑賞事業の実施は継続し、多くの市民に鑑賞いただけるよう工夫をする。<br/>芸術家の学校訪問は継続して実施する。</p> |
|-----------|----------|---|

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

|                  |  |
|------------------|--|
| <b>事業の今後の方向性</b> | <p>地方都市でも質の高い文化・芸術活動に触れられる機会の提供を継続していく。</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピートアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> |
|------------------|--|

◎外部評価委員の評価・意見等

|                      |      |
|----------------------|------|
| <b>点検・評価に関するコメント</b> | 特になし |
|----------------------|------|